

宗谷

宗谷教職員組合

【宗谷情報】No.17 平成25年1月24日発行
発行責任者：八木 博

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web: http://www.soya-teachers.org Mail: info@soya-teachers.org



1日12時間以上働くことが当たり前!?

全教「勤務実態調査」宗谷分を集計

宗谷教組では十月一日からの一週間、各分会長さんの協力のもと全教が提起する「勤務実態調査2011」を行いました。各分会でご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。宗谷教組としてデータをまとめる中で、平日の先生方の勤務の実態が明らかになってきました。

宗谷教組の約六十ある分会の中から三十七の分会からアンケートのご協力をいただきました。残念なのは、稚内大規模中学校からの提出がなかったこと。『アンケートに答えることすらできないくらい忙しいのか』ということも想像できませんが、より明確に宗谷の先生方の勤務実態を把握するという点では残念でなりません。

図は、平日におけるすべての教育活動に従事した時間の合計を示しています。七時間四十分の勤務時間と勤務時間終了後の学校での勤務時間（残業時間）と、自宅での持ち帰り仕事に要した時間を合計し、実質的な休憩時間を引いています。実に多くの先生が長時間の勤務をしているだけでなく、中には、一六時間以上を教育活動に費やしている先生が全体の六分の一もいることが明らかになりました。

また、ストレスを感じる仕事の種類では、事務作業・調査物そして会議・行事という順にあげられています。事務作業・調査物については、道教委施策によるものをはじめ様々なものがある中でいかにスリム化を図るかが課題となってくるのではないのでしょうか。宗谷には各学校で伝統になっている学

校文化や、歴史的な営みが数多くあります。私たちは、こうし

た目に見えない財産の上に教育実践をしているだけではなく、後世につなげていく役割があります。こうした意識のもと本質をつかんだ活動をする

ことで、ストレスや負担感は軽減するのではないかとこのアンケートをもとに、私たち教職員

青年部が、語り合う学習会

2月2日は稚内に集おう!

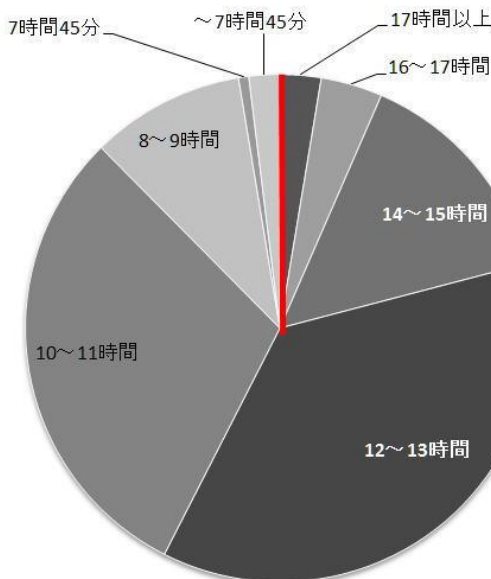
今年は「わからない支部フェスタ」や「枝幸支部学習会」が実施され、集い語り合うことの大切さを確かめています。このたび青年部が学習会を企画しました。集い語り合うことを大切にしたい学習会「学び座」です。

昨今の世の中、早く手軽に、そして瞬時にして結果が得られることが良いこととされる時代になってきているような気がします。教育現場においても同様に、「明日すぐに使えるテクニック」を追い求めがちになっていることに気づいて『ハッ』とすることもあってはいませんか。日々の仕事で忙しいときに、ついつい出来合いのお惣菜やお弁当に手が伸びるように、明日の授業のための小技も必要です。そうはいっても、子どもたちが笑顔になる授業、「楽しい」と思える授業づくりができるのは、教師冥利に尽きる醍醐味といえるでしょう。

青年部学習会「学び座」では、まず第一に参加された先生方で、自分が日々がんばってきたこと、仲間と学び合うことで実践につなげる…など集い語り合うことでの学び愛が広がることを願っています。難しい資料を作る必要はありません。今年度、子どもたちのために作成したものの、例えば学習指導案、学級経営案、懇談資料や学級通信などをもとに、目の前の子どもたちのことを語り合いませんか？ 二月二日、宗谷教育会館でお待ちしています。

時 2月2日13:00~
所 宗谷教育会館
加費 無料
持ち物 学級経営案・学級通信・学習指導案など
申込み 宗谷教組本部までご連絡を。

10月1日~5日(平日)の、宗谷の教職員の「24時間に占める教育活動の時間」



集計対象：宗谷管内の教職員（宗谷教組組合員、各分会から一人を抽出）
※「勤務時間7時間45分未満」があるのは、集計期間内に年休等で勤務を離れた先生がいるため。

にがんばれるものです。ギリギリの状態では、こなすことではできても豊かな活動を創りだすことにはつながりません。多忙・多忙感をうまく解消しながら、本質をつかんだ教育活動をするために、できることを考えていきましょう。

第24回定期大会主な議案（予定）

◆2012年総括

- 【1】子どもたちの笑顔が輝く学校づくりをめざして
- 【2】学校・職場を基礎とした教育研究の民主的発展をめざして
- 【3】生きがい・働きがい生まれる職場づくりをめざして
- 【4】生活を守り、豊かな暮らしを守るとりくみ
- 【5】平和と民主主義を発展させるとりくみ
- 【6】仲間づくりの取り組み～組合っていいなと思える宗谷教組をめざそう～

◆2013年方針

- 【1】分会・支部の総力で要求や願いを実現させる運動づくりを
 - 〔1〕「分会」を主語にした宗谷教組の運動づくりを創造しよう ～民主的學校づくりと教育条件整備
 - 〔2〕「楽しくてわかる授業づくり」を具体化させる「日常的な学び愛」の運動を。
- 【2】みんなで学び合うことで、運動を前進させる力を身につけよう
 - 〔1〕教育条件整備の運動を共同の力で進めよう
 - 〔2〕教職員を激励し安心して働くことができる職場づくりのために…
 - 〔3〕教職員組合の役割を發揮し、すべての教職員を励ます組合活動を

年に一度の活動の節目である定期大会が近付いてきました。二月二十三日土曜日に行います。定期大会は今年度の活動のあゆみを振り返り、来年度一年間の方針を組合員みんなで確かめ合う大切な機会です。しかも、それは本部からのお話ではなく、支部や分会、専門部の具体的な実践を通して、豊かな活動の軌跡を語り合うことで宗谷教組の活動をより良く今後につなげていく糧となっていくのです。

今後、支部・分会から代議員の生み出しについて提案があると思います。ぜひ、若い先生方に積極的に参加してほしいと願っています。日頃感じている「組合ってなんだらう」ということを具体的な取り組みから考えるヒントを得ることもできるでしょう。傍聴での参加も可能ですので、興味がある先生は分会や支部の先生に声をかけてみてください。

二〇一三年の 宗谷教組づくりを みんなて語り合おう！ 二月二十三日 第二四回定期大会

退職手当削減、道独自削減継続、現給保障の廃止に固執

28日深夜・賃金確定交渉

11月に行われた賃金確定交渉を受けて、道教組は交渉を続けています。昨年からの積み残し課題である「道独自削減の圧縮・中止」についてと「現給保障の廃止」について、そして、12月に新たに提案された「退職手当の削減」についてです。非常に厳しい内容になっていますが、オレンジカードに寄せられた想いを道教委に伝えながら、最終交渉に向かいます。

1月29日勤務時間外職場集会

宗谷教組では最終交渉を受けた勤務時間外職場集会の実施を呼びかけます。休憩時間あるいは勤務時間外に、賃金確定最終交渉の結果を学習しましょう。

賃金確定交渉の争点

①道独自削減

≪道教委の見解≫

- 道財政を大きく好転させるような変化も見通せず、削減を引き続き継続する必要がある。
- 国家公務員の給与引き下げに連動した地方交付税の削減が国において議論されている。
- 給与の削減措置は、現行通り取り扱う。

②現給保障の廃止

≪道教委の見解≫

- これまでの交渉の経緯を踏まえ、教職員の受給実態などにも留意しながら、鋭意検討している。

③退職手当削減

≪道教委の見解≫

- 退職手当は、国において支給水準の見直しが行われた場合には、国に準じて措置してきた。今回も同様に扱う。
- 国や民間企業に合わせるように措置してきている。
- 総務省からこれまで2回、地方公務員の退職手当を国に準じて必要な措置を講じるよう通知が行われている。

宗谷の四季

◆三学期がはじまると同時にインフルエンザの話題を多く聞くようになりました。ないとうはこの時期になると「マスクしよう、マスクは？」「マスクしなさい」と子どもたちに語りかけていました。意外と効果は抜群のようです。いつ流行し出すかわからない中では、「ランドセルの中に、チャック付小袋に入れてひとつ常備しておく」といよいよという声かけは、いざというときに役に立つものです。

◆今回は触れていませんが、「学校づくりと人事」の取り組みが終盤に向かっています。ぜひ、分会長さんの声かけのもとで、今一度、来年度の学校づくりについて考え合う時間を大切にしましょう。忙しくても、集まって語り合うことが大切です。分会として、教職員集団として来年度の学校づくりをしっかりと描くことが大切です。

◆青年部の学習会「学び座」に注目です。忙しい中でも、集い語り合うことで学び合うことをめざす大きなチャレンジです。ぜひ、土曜日の夕方に会館に集まりませんか？ 集まった先生方の中で「こんなこと学びたい、あの先生を呼んで実践を学びたい」というような声が出てくることもステキなことです。二月二日、ぜひ稚内へ。

◆陽射しが春めいてきました。卒業・進級に向かう取り組みがはじまるころです。組合としても、今年度の取り組みを振り返り、来年度に向かっての希望をたくさんみなさんと共有したいと願っています。定期大会、参加の組織化をお願いします。(natly)